

令和元年 第2回（6月）吉川市議会定例会

一般質問通告書

6月12日（水）			
質問者			
通告第1号	6番	濱田 美弥	
通告第2号	19番	戸田 馨	
通告第3号	9番	林 美希	
通告第4号	8番	降旗 聡	
通告第5号	15番	互 金次郎	
通告第6号	14番	五十嵐惠千子	
通告第7号	20番	稲葉 剛治	

6月13日（木）			
質問者			
通告第8号	17番	稲垣 茂行	
通告第9号	13番	小野 潔	
通告第10号	2番	雪田 きよみ	
通告第11号	18番	齋藤 詔治	
通告第12号	11番	佐藤 清治	
通告第13号	10番	妹尾 百合子	
通告第14号	1番	遠藤 義法	

6月14日（金）			
質問者			
通告第15号	3番	加藤 克明	
通告第16号	12番	小林 昭子	
通告第17号	4番	松崎 誠	
通告第18号	16番	伊藤 正勝	
通告第19号	7番	岩田 京子	

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	<p>交差点の安全対策について …車止めの本数・幅について</p>	<p>滋賀県大津市の交差点で信号待ちの園児たちが事故に合う痛ましい事件が起き、その後も車の事故が相次ぎました。車の自動運転化、踏み間違え防止の装置など、自動車産業が行う事故防止の手立て、国が制度を作っていくソフト面、そして、市は実際の交差点などの設備の点検・車止めなどの杭の設置など、市民への自動車の乗り方の周知等が対策として挙げられます。①市内の交差点の状況は。②今考えている対策は。交差点ごとに違った形状となると思われるが、いくつか事例をお知らせください。③千葉県市原市の砂場の事故を見ても、柵や金網は安全対策にはなっておらず、不測の事故対策は本当に大変だと思いますが、交差点で待つ方の安全対策には車両の入り込まない幅の、頑丈な車止めが必要と考えられます。費用や予算はどのくらいになりますか。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第1号 6番 濱田 美弥</p>	<p>学生服について …キュロット、ズボンの選択肢は、等</p>	<p>吉川中学校の制服がアンケートや話し合いで決定し、開校に向け準備も着々と進んでいます。①吉川中学校開校に合わせて、他校の制服なども不便はないか、再確認をお願いします。自転車通学の生徒はスカートの下に体操パンツやジャージをたくし上げて着ており、理由を尋ねると、下に着ていれば学校での着替えが容易なこと、更衣室が無いこと、着替える時間もあまりない、とのことで、夏場は上もシャツ代わりに体操服を着ていて大変暑そうです。また、スカートが風でめくれても中に体操パンツを履いているから大丈夫、と言っていますが、はたしてこの状態が正しいのか疑問です。昨今は様々な嗜好の犯罪者が盗撮を狙っていたり、写真や動画をSNSにあげたりと、犯罪も悪質化しています。②出来れば、自転車通学の生徒はスラックスやキュロット、学校に着いてから落ち着いて着替える場所と時間が必要だと考えますが、各校の現状、お考えはいかがでしょうか。また、③新中学校も更衣室や学校での服装についてなど具体的な運用はどのようにしていくか、お示し下さい。中央中についても夏場はジャンパースカートが暑いと子どもたちや保護者の方々から聞いています。④市内中学校の着衣の調節が自由に出来るような配慮や対策はされているか実情をお聞かせください。また、⑤夏場に限らず、生徒の状態や好みに合わせてスカート、スラックスの選択も他校でも取り入れて頂きたいと思いますがお考えを伺います。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	総合教育会議について …3月の続きの質問	平成28年度は7回、平成29年度も7回、平成30年度は1回開催され、内容としては教育大綱についてが7回、いじめの「マスコミ対応」についてが3回、「重大事態対応マニュアル」についてが2回、非公開の「いじめについて」の会議が3回、非公開の「不登校問題について」が1回となっています。原則、総合教育会議の内容は公開で、議会にも説明が必要とされていますが、特に平成29年11月以降の4回は非公開で内容が分かりません。非公開となる事案のいじめは先般立ち上がりました「吉川市いじめ問題対策連絡協議会」での事案でもあるかと思えます。開催について、取り扱う事案の違いなどがあるのかお示し下さい。	市長 教育長 担当部長
(続) 通告第1号 6番 濱田 美弥	教育長就任に際して	①前任校で1300名の児童数の小学校、美南小との比較、校庭の面積、学級数、校長として気を配っていたこと、経験から美南小がこれから配慮すべきこと、児童数が多いメリット、困ったことなどをお示しください。 ②三郷市鷹野小学校での「鷹野の森」の取り組みについて、教育長が取り組まれてきたこと、子どもたちへの効果などについてお聞かせください。 ③吉川市の教育の長に就任され、これからどのような教育を目指されるのか、吉川市の教育面の良いところ、改善点など、今後の抱負も含めお聞かせください。	教育長
	少人数学習指導の大切さと 少人数学級の実現について	美南小学校の運動会を拝見し、1176名の元気な歌声に感動しましたが、準備体操で校庭の隅々まで子どもたちが広がった様子を見て、休み時間などに伸び伸びと体を動かしているのか、次の授業を受けられる様にリフレッシュ出来ているのか心配になりました。また、音や光に敏感で集中できなかつたり、頭痛になったりする子どももいます。以前も申し上げていますが、学校自体の子どもの人数の減少は悪い事ではなく、ゆったり授業を受けられる環境があると捉えても良い事です。①教室数に余裕がある学校では志木市の「志木っこハタザクラブラン」【小学1・2年生は1クラスの人数の上限が29人（適正な人数が25人）、3年生は上限が32人（適正な人数が28人）というように、国や県が定めている上限よりも少ない人数で、小学校低学年の学級編成をする取り組み】を参考に一クラスあたりの児童数軽減をしてはいかがでしょうか。 また、②少人数学習指導は現在すべての学校で実施されているとの事でしたが、空き教室に余裕のない学校ではどのように実施されていますか。現状をお聞かせください。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) 少人数学習指導の大切さと 少人数学級の実現について	③少人数指導は主に算数で実施されていると聞いています。実施される際、子どもの習熟度にあわせての少人数クラス編成を考慮されてはいかがですか。また、④算数に限らず、他の教科でも子どもたちの得意な教科は伸ばし、苦手な教科は丁寧に下支えしていただけるような取り組みをされてはいかがでしょうか。	市長 教育長 担当部長
(続) 通告第1号 6番 濱田 美弥	市長キャラバンについて	<p>今回5月19日・23日に美南小学校で開催された市長キャラバンについて</p> <p>①行政で出す発行物だが発行年月日が無く、いつ出されたものでしょうか。</p> <p>②開催日までの日にちの余裕が無い、回覧板でのお知らせは周知方法としての確でしたか。</p> <p>③キャラバンの中で話された「中曽根小への学区選択」「校庭の遊具移設について」、二日目に市長がまとめられた「今回のキャラバンのテーマ」として・今後の児童の増加の傾向についての市の考え・校庭の利用方法・新中学校の学区について・通学路について・放課後の学童について、は当該のチラシには詳細に載っておらず、開催内容が不明確で、参加を促せていないが、開催の意図は何ですか。</p> <p>④美南地区はキャラバンの中でも話されていましたが高齢化率が10%以下の核家族が多い地区であり、特に2日目の参加者数は10名以下、平日の18時から19時半はこの地区の方がどのような過ごし方をしているか、どのような方に聴いて欲しいのが明確であれば設定しない時間帯ですが、しっかり説明を大勢の方に聴いて頂きたかったのか、開催した既成事実が出来ればよかったのか、どちらですか。</p> <p>⑤回覧板を見ていらしていた方々は、1日目2日目とも、これから小学校にあがるお子様をお持ちの方々が多く、その方々に聴いて頂き直接ご意見を伺うとすればどのような周知方法でいつの開催が適当であるかお示し下さい。</p> <p>⑥このキャラバンを行う事はいつ決まったのですか。</p> <p>⑦決まった時期によってはせめて4月の広報に載せるべきだったのでは。</p> <p>⑧キャラバンで市長は1日目には「教室はぎりぎり足りる。美南地区実自体の開発も終わっている。イオンの空いている土地にマンションの計画があったものは市が交渉して建てないようにした。中曽根小へ行きたい方が行けるように規則を変えていく。」2日目には「イオンタウン奥、マンション作る計画 民間と話を理解頂いている。中曽根小に行きたいという家庭には行けるように、というように決めた。」とおっしゃっていましたが、教育委員会や学区審議会もせず「決めた」と言っているのだからかと思いついて聞いていました。「市長キャラバン」とは、何を、どこまで、決める権限のある事業なのですか。</p>	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第1号 6番 濱田 美弥</p>	<p>(続) 市長キャラバンについて</p>	<p>⑨市民から「校庭の遊具について、ブランコ滑り台は今どのくらい使われているのか」という問いに対して学校からの回答「低学年に人気があり、活発に利用している」とのことで、活発に活用している遊具を撤去しなければならないほど狭い校庭は問題では。ますます窮屈に、楽しみの少ない校庭になりますが、はたしてこの焼け石に水的対策で良いのか、お考えを伺います。</p> <p>⑩市民から「指定校通知が来てから2週間で選べと言われても情報が乏しいので選べない。学校の雰囲気を見ておきたい。前回、今回来ていない人はもっと分からない。」との問いに対し市長は「前回のキャラバンで明言しているので皆さんに広めてもらって良い。選択について考え始めてほしい。」「PTA会報誌などに今回の内容を載せる」とおっしゃっていますが、任意団体のPTAの会報にはそのような責任はありません。市と教育委員会が責任を持って市民に知らせるべきです。また、当日そこにいた方々に広報を担わせるのもおかしい事です。お考えを伺います。</p> <p>⑪マンモス化の問題は4年前からずっと「児童数、一人あたりの広さ、学習環境のこと、市の様子など情報提供しながら話し合う時間を沢山作るべき。」と質問し、お願いしてきました。しかし前回3月の議会でもお答えは「今、具体的に話していない」とのことでした。このような事を話し合うのが総合教育会議ではないのですか。お考えを伺います。</p>	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>通告第2号 19番 戸田 馨</p>	<p>吉川市の教育行政について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・吉川市教育大綱「家族を 郷土を愛し 志を立て 凜として生きてゆく」に対する見解を伺う。 ・近ごろの教育界においては、教員のたび重なる不祥事、全国的に広がるいじめ問題、不登校など、数多くの問題を抱えている現実がある。戸張教育長は長きにわたる教育現場でのご経験、また吉川市の教育委員会副部長として、市の教育行政へもご尽力いただいた経験をお持ちであるが、そうした素晴らしい経歴の下、教員の質の向上から、いじめ/不登校問題まで、吉川市の学校教育の様々な課題をどう捉え、今後、どのように対応してゆくのか見解を伺う。 ・吉川市の子供達の教育の質を保証するために必要なものはどのようなものかと考えるか、見解を伺う。 	<p>教育長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第2号 19番 戸田 馨	(続) 吉川市の教育行政について	・美南小学校の大規模化に伴い、校庭利用の制限など、「空間的制限」の課題がある。市長キャラバンにも参加されていたが、その解消のために「カリキュラムの調整による空間確保」も検討されてはどうか、見解を伺う。	教育長
	吉川市の文化芸術施策について	・芸術文化は「個人の営み」のみならず、地域社会にとって大きな幸福実感をもたらすとともに、現代社会の課題となっている高齢者の健康長寿、世代間交流、社会参加、他者への理解力醸成、シティープロモーションなどをはじめとし、広くその効果が期待できるものである。吉川市は「演劇事業を旗手事業とし、文化芸術を総合的に活用する」という方向性を示しているが、更なる文化芸術振興のため、吉川市の文化芸術施策を今後どのように発展させてゆくか、見解を伺う。	教育長
	子供の声をまちづくりに	・市長の広聴事業として行われている「市長とランチミーティング」では、児童生徒と活発な意見交換がなされていると伺っている。教員や私達大人には見えない視点を子供達はたくさん持っている考えるが、「市長とランチミーティング」を更に一歩進めるために、各学校の代表委員会、生徒会等を活用し、児童生徒がとりまとめた意見を直接市に対し政策提案を出したり、予算要望を出せる仕組みを取り入れてはと考えるが、見解を伺う。	市長 教育長 担当部長
	吉川市の農業保全のために	・5月の大型10連休前の通水の時期に、水路に水が来ないという状況が生じた地域があった。原因と市の対応、その中でも特に「今後の対策」について、見解を伺う。 ・埼玉県では、令和元年の新規事業（農販直結型新流通システム支援事業）として、県産農産物の流通改善の実証試験に取り組むこととし、その実施に先立ち、県内の生産者や量販店に対し、「埼玉県産農産物（野菜）の流通に関するアンケート」を実施した。吉川市においても、農産物の流通、販路拡大、生産者と量販店とのマッチングなど、こうしたアンケートで課題の洗い出しをすべきと考えるが、見解を伺う。	市長 担当部長
	水道事業について	・平成30年12月議会で「水道運営委員会のあり方」について伺った。有収率の低下、市民への啓発、ビジョンの策定、水道事業運営の方向性等々さまざまな課題があり、吉川市の水道事業が岐路の一步目に立たされている今、現状の水道運営委員会での議論では限界を感じての質問であったが、その後、水道運営委員会のあり方についてどのような検討がなされたか、また水道運営委員会の今後の在り方について、改めて議場にて見解を伺う。	市長 担当課長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第2号 19番 戸田 馨	老朽化した市内街路灯、防犯灯の調査の進捗について	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年12月議会で「市内街灯の老朽化への対応」について伺う中、「調査の推進に努めている」というご答弁であったが、その後の集計結果など、調査の進捗状況を伺う。 	市長 担当部長
通告第3号 9番 林 美希	学童について	<ul style="list-style-type: none"> ①学童支援員、補助支援員の確保の状況は。 ②土曜保育 児童数が増加している駅南側（中曽根小学校もしくは美南小学校）で土曜保育を行う必要があると考えるが見解は。 ③児童数増加にあたって <ul style="list-style-type: none"> ・美南学童クラブの量の不足が生じる見込みはあるか。 ・民間学童の誘致、補助制度の整備が必要と考えるがいかかがか。 ④こどもの育ちを考える 吉川市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例第6条（放課後児童健全育成事業の一般原則）の中で「家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図ることを目的として行わなければならない」とある。 <ul style="list-style-type: none"> ・「地域との連携」として実施している具体例の有無、内容は。 ・自主性の確立に寄与する具体例の有無、内容は。 	市長 担当部長
	減災について	<ul style="list-style-type: none"> ①食物アレルギーへの対応 <ul style="list-style-type: none"> ・市の備蓄食料はアレルギー対応の観点から選定しているか。 ・市が備蓄する育児用ミルク全体量のうち、アレルギー対応ミルクが占める割合は。 ・災害時、食物アレルギーの観点からも安全な炊き出しが提供されることを目的とした、自主防災組織や市民団体に向けた啓発・講座メニューの有無、内容は。 ・支援物資の中からアレルギー対応食取り出しの計画の有無、内容は。 	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨		答弁を求める者
(続) 通告第3号 9番 林 美希	(続) 減災について	②避難所運営マニュアルの策定状況は。 ③市防災計画の中で各部署の災害時の役割が組織図で示されている。より実効性を高めるため、各部署・課の中で課題を抽出し、災害時行動を練り上げる必要があると考える。見解は。		市長 担当部長
通告第4号 8番 降旗 聡	治水対策について	<p>当会派では、昨年11月に平成31年（令和元年）度吉川市予算編成における要望書を提出し、防災の項目で治水対策について2項目について要望しました。</p> <p>現在、吉川駅北口地域の治水対策として、木売落としの改修が計画されていますが、できるだけ早く整備着手できるように検討していくとしています。会派としては、事業費や費用対効果、事業完成までの期間を考えると、排水区の見直しを含め、早急に治水計画を策定することが重要であると考えています。</p> <p>また、栄町・保・中野地区の浸水対策として、大場川・上第二大場川周辺に調整池等の整備を求めたところ、「南中学校周辺地区の浸水対策として、調整池などの整備手法を含め、研究する」としています。</p> <p>そこで、「木売落としの改修計画」「南中学校周辺地区の浸水対策」それぞれについて検討・研究の進捗状況と今後の方向性について市の考えを伺います。</p>		市長 担当部長
	安全安心のまちづくりについて	<p>現在、全国的に発生している交通死亡事故が大きく報じられています。交通弱者・歩行者の安全確保は社会的な課題です。また、市内の道路整備・維持補修と生活道路の安全確保については、市民から多くの要望が寄せられています。</p> <p>そこで、以下について市の考えを伺います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)ゾーン30の区画設定の考えと今後の計画について（吉川駅北口地区等・保・中野・栄町など含めて） 2)生活道路・通学路の安全対策について 3)保中橋への横断歩道設置について 		市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第5号 15番 互 金次郎	高齢者、障がい者、要介護者等のごみ出し支援について	<p>高齢化が進み、核家族化の進行や住宅事情等により、高齢者、障がい者、要介護者などで、集積所までごみ出しが困難な方々が増えています。</p> <p>国でも環境省が、今年の夏から5か所程度の自治体を選んで高齢者のごみ出し支援のモデル事業を行います。</p> <p>当市は、平成19年の4月から、ごみ集積所へ持ち出すことが困難な世帯に対し、戸別訪問収集（パートナー収集）実施をさせていただいております。</p> <p>当市の、高齢者、障がい者、要介護者等のごみ出し支援について、近年の実施状況と今後の課題についてお伺いします。</p>	市長 担当部長
	学校問題解決支援の充実について	<p>近年、学校現場では、非行、いじめ、不登校、さらに虐待や子どもの発達への悩み、保護者との信頼関係等様々な問題への対応が期待されています。</p> <p>学校問題の解決支援の充実は、子どもたちが安心できる学校づくりのためにも、学校と保護者共に重要な課題であると考えます。</p> <p>以下お伺いします。</p> <p>①近年の非行、いじめ、不登校、保護者との信頼関係等の学校問題の実態と対応について。</p> <p>②学校問題解決への今後の課題について。</p>	教育長 担当部長
通告第6号 14番 五十嵐恵千子	1. 園児らの交通安全等の対策を	<p>大津市の県道交差点で園児ら16人が死傷した事故を受け、政府は交通事故防止対策を検討する閣僚会議を開き、未就学児らが通園や散歩などで日常的に使う道路の安全確保策のとりまとめが指示されました。当市におきましても通園路や園外活動に関わる道路等の注意喚起や安全性確認がされたと同っていますが、その結果と今後の安全確保策についてお伺いします。また、各園からの改善要望がありましたら併せてお聞かせください。</p>	市長 担当部長
	2. 国産液体ミルク備蓄を	<p>平成29年6月議会一般質問にて備蓄をご提案させていただき、担当部長より「さまざまな調査研究しなければいけない点がありますので、情報も集めつつ検討したい…」との前向きなご答弁をいただいております。お湯で溶かさなくても飲ませることができる、赤ちゃん用の「液体ミルク」は開封してそのまま乳児に飲ませることができるため、手間がかからず衛生的で外出時等には便利とされ、また常温で保存でき、お湯が手に入りにくい災害時の備蓄にも大変役立つとして注目が集まり、平成29年8月に厚労省の省令改正で製造基準などが示されて以降、国内での製造や販売ができるようになりました。また、今年3月5日、国内の大手乳業メーカーは、国内で初めて国産の乳児用液体ミルクを発売したと</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) 2. 国産液体ミルク備蓄を	発表がありましたが、同日、商品化に必要な消費者庁の許可を得て販売を始め、流通・普及が本格化しています。現在、東京都の各区を始め、西日本の自治体でも備蓄が広がっていますが、当市におきましても各保育園等へ大災害時に備え早期に備蓄すべきと考え、検討の進捗状況をお伺いします。	市長 担当部長
	3. 吉川市 PR 大使の任命を	先般、市民より「吉川市の観光・PR 大使は何方ですか」とのお問い合わせをいただき「当市は、現在その様な取り組みはしておりません」とお答えし、近隣市町の取り組みを調べましたところ、其々にその地の出身・在住・ゆかりのある方が観光大使・PR 大使として任命され、紹介及びその地の PR が発信されていました。当市におきましても全国的にご活躍されている各界の有名人が既に吉川市を PR してくださっておりますが、この際、吉川市 PR 大使として任命し、さらに吉川市の魅力 PR を全国へ発信していただければ如何でしょうか、ご見解をお伺いします。	市長 担当部長
(続) 通告第6号 14番 五十嵐恵千子	4. 買い物弱者支援策を	<p>人口減少や少子高齢化等を背景とした流通機能の低下や高齢者等の移動能力弱体化等の様々な理由により、日常の買物機会が十分に提供されていない状況に置かれている人々、いわゆる「買い物弱者」は、経済産業省の推計によりますと、日本全国で約 700 万人程度となり、その数は年々増加傾向にあるとの事で大きな課題となっております。</p> <p>当市におきましても近場に生鮮食品を始めとした生活必需品を扱う店舗がなくなる事態が過去度々発生し、日頃の買い物に不便や今後に不安を感じている「買い物弱者」がいらっしゃいます。</p> <p>①最近では吉川団地内のスーパーが撤退されましたが、当市としては現状をどう捉え、今後をどの様にお考えでしょうか。</p> <p>②また、潜在的にいる買い物弱者のニーズは、高齢化に伴って当市も益々増加すると思いますが、その対応について当市はどのように支援するおつもりでしょうか、お考えを伺います。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第7号 20番 稲葉剛治	子供達を守るための安全対策と社会的課題への対応について	<p>大津市では散歩をしていた保育園児の列に車が突っ込む痛ましい事故、川崎市で子供達が巻き込まれるという痛ましい事件が起こり、社会的に子供達を守れといった声も高まっているように思います。こうした中、市の行なっている取り組みなどについて伺います。</p> <p>1・大津市の事故をふまえた市の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) どのような対策を行っているか伺います。</p> <p>2・川崎市の事件をふまえた市の取り組みについて伺います。</p> <p>(1) 事件後にどのような対応を行ったのか伺います。</p> <p>(2) 市から学校の登下校時の旗振りなどの見守りを行って頂く事についてPTA・保護者・地域への啓発などは行えないか伺います。</p> <p>(3) こうした悲しい事件が引き起こされる背景には、様々な社会的課題が潜んでいるといわれています。教育や貧困・引きこもり対策等について中長期的な視点に立ち対応する事が必要であると考えますが見解を伺います。</p>	市長 教育長 担当部長
	市内小中学校の運動会・体育祭を行うにあたり	<p>先日、市内小学校で運動会が行われました。短期間の準備の中、演技等に一生懸命に取り組んでいる姿を見ることが出来ました。一方で強い日差しと高い気温による熱中症が心配される中、各学校による対策があったように思います。</p> <p>1・市内小中学校の運動会・体育祭を行うにあたりどのような業務改善を行なっているか伺います。</p> <p>2・運動会・体育祭当日にどのような熱中症対策を行なっているか伺います。</p>	市長 教育長 担当部長
	市民農園再整備について	<p>吉川市では、市民農園の再整備により地域農業の活性化のみならず、旭地区の魅力の発信、多くの方が訪れる地域全体の活性化につなげて行きたいという方向性のもと事業が進んでいる中、私自身今後の展開に期待しているところでもあります。</p> <p>1・現在の進捗状況と今後のスケジュールについて伺います。</p> <p>2・多くの方が訪れる拠点作りとして考えていることを伺います。</p> <p>3・地域農業の活性化として考えている内容について伺います。</p> <p>4・市民農園再整備にあわせた旭地区の魅力発信について、どのように発信していく考えか伺います。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第7号 20番 稲葉 剛治</p>	<p>公平な選挙について</p>	<p>市長選挙に関連したポスター掲示について、ポスターの表記に対して選挙違反にあたるのではないかと問い合わせを多く頂きました。また、ポスターに証紙が貼られていないものについては違反である。という認識のもと質問します。</p> <p>1・前回の一般質問の際、ポスターについて違法性がないと答弁があったが、ポスターを許可する際の判断基準について伺います。</p> <p>2・ポスターを許可するにあたり証紙を1000枚発行しているが証紙が貼られていない事例が多くあり、結果的に証紙が貼られていない事を選管が見過ごしていたのではないかとと思われる状況である。証紙が貼っていないポスターについての確認、是正はどのように行ったのか伺います。</p> <p>3・公平な選挙を行うにあたり、被選挙人、市民の窓口となる選挙管理委員会の役割は重要で、その際の対応による影響は大きい。今後選挙管理委員会としてどのように取り組んでいくか伺います。</p>	<p>担当部長</p>
<p>通告第8号 17番 稲垣 茂行</p>	<p>旧庁舎解体工事（地下杭引き抜き）について</p>	<p>先の3月議会で、旧庁舎解体工事の工期及び請負契約の変更契約の締結が提案され、賛成多数により可決されました。変更内容は、「杭の引き抜きに時間を要する」との理由から工事期間を平成31年3月20日までを5月31日に延長し、請負金額を17,915,040円増額して217,414,800円とするものです。杭抜き工事が3月末に全て完了したとのことですので、改めて工事内容と結果について伺います。</p> <p>1 杭抜きの工期について これまでの説明では、「4月13日に終わる見通しだが、幅を持たせて5月末とした」とのことだったが、予定より早期に終わった理由。</p> <p>2 地下杭について 旧庁舎跡地の地下杭は合計112本。変更契約時点では96本が完了し、残り16本と伺った。16本については全て抜いたのか。</p> <p>3 残置杭について ①残置された杭の本数、場所、長さ、形状、状況等 ②残置した理由及びその判断は誰が行ったのか ③残置杭は「産業廃棄物」となるのか。 ④跡地利活用（建物の建築・用地売却等）時は、どのように対応されるのか ⑤今後、引き抜きを実施する際の費用負担はどこが行うのか</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第8号 17番 稲垣 茂行</p>	<p>(続) 旧庁舎解体工事（地下杭引き抜き）について</p>	<p>4 請負金の支払いについて 支払い金額はいくらになるのか。</p> <p>5 請負業者との確認と折衝について 市は当初の契約締結にあたり、事業者との間で工事内容・期間・地中状況等について、どのような調査、確認をされたのか。また、変更契約を結ぶ際、契約約款に基づく折衝の内容と経緯は。</p> <p>6 旧庁舎解体工事（建物・地下杭）が周辺地域に与えた騒音・振動等の影響と被害状況。</p>	<p>市長 担当部長</p>
<p>通告第9号 13番 小野 潔</p>	<p>「はーとふる・ぽっと跡地」の 利活用について</p> <p>ドクターヘリ場外離着陸場の 増設について</p>	<p>1 おあしす1階「はーとふる・ぽっと跡地」は、市民の利便性とサービス提供の場として有効な資源と考えるが、これを利活用せず1年以上放置している理由</p> <p>2 おあしす利用者及び来庁した市民の休憩場所や喫茶・食事スペースの確保についてどう考えているのか。</p> <p>3 おあしす1階「はーとふる・ぽっと跡地」は、市民の休憩場所や喫茶・食事スペースとして直ちに開放すべきと考えるが</p> <p>4 庁舎3階での弁当・コーヒー等の販売は、全く結果が出ていないが今後どうして行くのか</p> <p>5月8日、滋賀県大津市の県道交差点で、散歩中の保育園児らに車が突っ込み16人が死傷するという痛ましい事故がありました。また5月15日には千葉県市原市で、乗用車がフェンスをなぎ倒し、近くの保育園児らが遊んでいた砂場に突っ込み保育士の方が骨折するという事故がありました。</p> <p>5月28日朝、川崎市多摩川区登戸新町で小学生ら19人が襲われ、2人が殺害され犯人が自殺を図るという凄惨な痛ましい事件が起こりました。連日のように信じられないような交通事故、事件が報道されています。当市でも4月29日葛飾吉川松伏線（334号）の美南5丁目ジュピター動物クリニック交差点東側で、市内小学校5年生の児童が車にはねられドクターヘリを要請し一命をとりとめるという事故がありました。</p> <p>凄惨な事件、事故から一時を争う命を守り切らなくてはなりません、そこでお伺いします。</p> <p>①現在市内にあるドクターヘリの場外離着陸場をお示しください。</p> <p>②吉川松伏消防組合のここ5年のドクターヘリ要請出動件数は。</p> <p>③ドクターヘリ場外離着陸場の増設についてのお考えは。</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第9号 13番 小野 潔	美南小学校区から中曽根小学校への入学について	<p>美南小学校の児童数は令和元年5月1日現在1177名の超マンモス校となっております。平成30年4月1日には新校舎（プレハブ校舎）を設置対応をされております。教育委員会では令和2年度の入学にあたり、美南小学校区から希望制での中曽根小学校への入学を検討されていると聞いております。先日5月19日、23日の両日にて「美南小学校児童数等について」と題して市長キャラバンを開催したと聞いております。そこでお伺い致します。</p> <p>①市長キャラバンの参加人数、参加者の意見・要望の内容 ②中曽根小入学希望制度の内容とスケジュール等について。</p>	教育長 担当部長
	吉川中学校建設及び周辺整備について	<p>①吉川中学校の建設が令和2年4月開校にむけて進んでいますが進捗状況についてお聞かせ下さい。</p> <p>②開校に向けて通学路となる校門側の遊歩道の街灯整備についてのお考えをお聞かせ下さい。</p> <p>③吉川中学校南側に雨水処理システムのある吉川駅南No1雨水ポンプ場があります。ベンチがあり、「せせらぎ」があり素敵な憩いの場を設けていますが、現在は雑草が繁茂して、「せせらぎ」があるのかないかわからない状況であります。地域にとっても生徒にとっても大事な憩いの場所です。開校までに整備すべきと考えますがいかがですか。</p> <p>④吉川美南調節地は様々な動植物の生態系を持つと聞いております。吉川中学校開校に向けて、通学路となる遊歩道側へ生態系をなす動植物のパネル展示をして、小中学生への教育の一環として、また地域の方の親しみへの一助としてはいかがですか。</p>	市長 担当部長
	吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業の進捗状況について	<p>市は東口周辺地区の企業誘致にあたり、商業業務ゾーンには文化施設、産業ゾーンには工場見学機能を持つ企業の立地を目指していますが、平成30年度に実施した、まちづくりパートナー事業者との意見交換では、どのような反応がありましたか。また本年企業公募の予定となっておりますが進捗状況についてお聞かせ下さい。</p>	市長 担当部長
通告10号 2番 雪田 きよみ	1. 教育現場での熱中症事故防止対策の徹底を	<p>昨年7月、愛知県豊田市では小学校1年生の児童が校外学習後に熱中症によって死亡するという痛ましい事故が発生しました。豊田市が設置した第三者調査委員会が今年3月発表した報告書では、教員の熱中症に対する知識不足を指摘しています。</p> <p>同様の事故を二度と繰り返してはなりません。一方で教員の長時間過密労働が問題視される中で、熱中症に対する正しい知識の獲得を個人任せにすることもできません。教育現場での熱中症事故防止対策について、市の取り組みを教えてください。</p>	教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告10号 2番 雪田 きよみ	2. あらゆる行政機関への 請願権の保障を	請願・陳情は地域住民の要求を実現するための重要な権利の一つです。請願権を保障するために、各行政機関ではどのような配慮がなされているのでしょうか。 ①これまでに教育委員会・選挙管理委員会・公平委員会・農業委員会等の行政機関に提出された請願・陳情の有無を教えてください。 ②第25採択協議会への請願権についての考え方を教えてください。 ③教科書採択協議会を含むあらゆる行政機関への請願権を保障するために、各行政機関の「請願等取扱要項」を定め、ホームページに掲載するなどの対策をとるべきではと考えます。市の考えは如何でしょうか。	市長 教育長 担当部長
	3. は一とふる・ぽっと 移転後1年、現状は。	は一とふる・ぽっとがおあしす1階から市役所3階に移転し、1年が経過しました。移転の提案に際しての市長の説明では、「販路拡大」「は一とふる・ぽっとの進化」「障がい者就労の場として、もっと光が当たるような形」「当事者の皆さんの生活の安定」「利益」「いろんな方たちと触れ合えるように」等のお話がありました。 このような目的・目標に照らして、現状はいかがでしょうか。 また、は一とふる・ぽっとの跡地については、「ゼロベースで検討する」とのことでした。進捗状況を教えてください。	市長 担当部長
	4. 市民から愛される演劇事業 の展開を	3月議会では一般会計予算案に対し市民の会・無所属より付帯意見が提出され、賛成多数で可決しました。演劇事業をより多くの市民の賛同を得て、愛され大切にされる事業根付かせていくための意見だったと理解しています。 これを踏まえ、今後演劇プロジェクトをどのように進めていくのか、考えをお聞かせください。 また、演劇公演において市が直接チケットを販売することの是非について、地方自治法の規定に照らしてどのように検討されているか教えてください。 文化財団等の設立が必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。	市長 担当部長
	5. 新教育長の基本姿勢は	新しい教育長が就任されて最初の市議会にあたり、教育長としての基本的な考えをお聞かせいただきたいと思えます。 ①新教育長としての抱負をお聞かせください。 ②教職員の長時間労働に対する見解をお聞かせください。 ③教育基本法に照らして、学校教育の課題をどのように認識されているかをお聞かせください。また教育・教育行政のあり方についての見解をお聞かせください。	教育長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告10号 2番 雪田 きよみ	(続) 5. 新教育長の基本姿勢は	④今年は子どもの権利条約30周年です。子どもの権利条約に対し、どのような認識をお持ちでしょうか。	教育長
通告第11号 18番 齋藤 詔治	農業従事者の経営安定・向上を図るため農地転用許可等を推進する行政対応が急務	・平成30年9月に「農村地域への産業の導入の促進等に関する法律」について制度改正が行われ、農村地域に産業が導入され、農業従事者の安定した就業機会の確保は、農業と導入産業との均衡ある発展が図られます。 しかし、三大都市圏に位置している吉川市は、この法律の適用は受けられません。吉川市の現状は近隣市町より農用地が多い中、さらに農用地区域からの除外のルールが厳格化されていますが、どの様な対応策を考えているか伺います ・優良農地の確保のための土地利用調整による農用地区域からの除外ルール、農地転用規制の厳格化は、農業従事者の所有資産の低価格化につながっています。このことは本来、吉川市の地域性を活かした豊かな農業経営者にとって、積極的に新たな農業投資により経営拡大に向けたチャレンジが難しくなっています。農業ばなれ、生産減少につながっていると考えますが如何か。 ・吉川市の地域性を活かす為、所有資産農地の全てが農業振興区域である現状は、人口減少の進む旭・三輪野江地域はもとより、農業振興地域農用地(青地)の白地への編入を実施した上、改正農地法・農地制度への対応推進を図るべきと考えますが如何か。 ・農業従事者が農地(資産)の一部を生産農地以外に資産としての賃貸運用等を図り、毎月の安定収入が得られるよう配慮すべきと考えます。これらにより農業経営の拡大・生活の安定が図れるよう、農業従事者の意見をくみとり、農地転用許可等を推進する行政対応が急務と考えますが如何か。 ・農地法は、農地の効率的な利用を促進すると共に農地が地域における貴重な資源であること、権利の取得を促進すること等を明確化し、農地の適正かつ効率的な利用を確保しなければならない旨を明確にしています。これらにより、耕作者の地位の安定と国内の農業生産者の増大を図り、もって国民に対する食糧の安定供給の確保に資する事とあります。これらを積極的に実施するため、産業振興・新たな事業への取組推進を伺います。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第11号 18番 齋藤 詔治	スムーズな許認可システムの再構築で吉川市のイメージアップを	年号が平成から令和になり、社会構造・政治形態や文化・思想なども更にスピーディに多種多様な変化をしていくと考えられています。 吉川市も新しい庁舎等様々に変化していますが、多くの許認可システムが以前のままになっており、近隣行政機関と比べ、吉川市のイメージを損なっている部分であることをよく耳にします。よりスムーズな許認可システムを再構築し、三大都市圏内にある吉川市のさらなるイメージアップを考慮しては如何か。	市長 担当部長
通告第12号 11番 佐藤 清治	公契約条例の制定を 学童保育の職員基準を緩和する法案が成立した場合吉川市への影響は 公園整備について	近隣市では公契約条例を制定している。吉川市でも制定すべきではないか。 安倍政権は学童保育の職員基準を緩和する地方分権一括法案を成立させようとしているが市としての対応は。 第4期実施計画で公園再生プロジェクトの実施と書いてあるが具体的な内容は。	市長 担当部長 市長 担当部長 市長 担当部長
通告第13号 10番 妹尾 百合子	ITリテラシーについて	著しい情報通信技術の発達に伴い、社会のあらゆる分野で情報化が進んでおり、子供から高齢者までがインターネットを利用し、情報を得られる環境は現代欠かせないものとなっている。そのため、情報機器の操作ができること、主体的に情報又は情報手段の選択が出来ること、情報収集する能力を持つこと、情報を守る事といったITリテラシーを持つことが重要な課題となっている。 そうしたことから、ITリテラシーについてのそれぞれの見解を伺う。 ①小中学生に対して ・子供のスマートフォン利用には危険性がある事や依存問題などが挙げられる。例えば、自分の個人情報をみだりに公開しない、他人の情報を公開したり、インターネット上で攻撃するといった行動に警告をするといった、教育指導をしているか。 ・インターネット依存の対策として、家庭内でのインターネット利用の制限などといった話し合いをするよう指導しているか。 ②子育て世代、保護者に対して ・スマホ育児、スマホ子守は、その弊害を指摘する声が高まっている。ある調査では、1歳児の4割、3歳児の6割がスマホなどの利用を経験し、またはほぼ毎日利用しているなど、スマートフォンが未就学児の日常にも深く入り込んでおり、ネグレクトに繋がる	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
<p>(続) 通告第13号 10番 妹尾 百合子</p>	<p>(続) IT リテラシーについて</p>	<p>のではないかと不安視されている。 保護者の9割以上が「子供に利用させること」について何等かの不安を感じているとしている。 こういった保護者に向けた指導など現在行っている事があれば伺いたい。</p> <p>③高齢者に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯のためなどの利用目的で、高齢者のスマートフォン利用が増加している。個人情報を書き込ませるなどの、インターネット犯罪に巻き込まれないように啓発や予防策周知活動など行っているか。 <p>④市職員に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業では、職務上知り得た情報をみだりに個人の SNS などへ発信しないといった、プライバシーポリシー順守の徹底などを社員教育などしているが、市職員に対しての指導はどのように行っているか。 <p>⑤学校の教職員について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職務上知り得た情報をみだりに個人の SNS へ公開しないといった指導を教職員にしているか。 ・生徒の個人情報の取り扱いについて指導などは行っているか。 ・学校で利用しているシステムの運用ガイドラインや管理者講習などは行っているか。 	<p>市長 教育長 担当部長</p>
<p>通告第14号 1番 遠藤 義法</p>	<p>1. 買物弱者支援の積極的施策実施を</p>	<p>買物が困難な住民の増加が社会問題化しています。過疎地域だけでなく都市部にもおきています。吉川団地内のスーパータジマが4月7日をもって閉店をしました。3月の閉店情報があつてから自治会は、タジマ本部や UR 都市機構への確認・説明を求める等奔走してきました。とりわけ買物が困難な住民の方々への把握と対応をすすめてきました。</p> <p>現在、JAの協力を得て野菜等の移動販売を行っています。市は、今回のスーパータジマ閉店にあたっての把握と対応・対策はどのように行ったのか。また、市内での買物弱者の実態と施策を伺います。</p> <p>総務省は、買物弱者対策に関する実態調査を行うと同時に改善措置状況について厚生労働省からの回答を受け、その概要を取りまとめています。買物弱者対策に積極的に取り組んでいる地方公共団体等の事例もあわせて取りまとめて公表しています。</p> <p>公表された内容についての市の見解は。とりわけ、事例から地方公共団体が積極的に関</p>	<p>市長 担当部長</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
	(続) 1. 買物弱者支援の積極的施策実施を	与し、買物施設の整備、移動販売の実施、買物送迎支援実証実験の実施などがあり、対策を推進することが期待されていると述べています。国として各省庁別に補助事業を設けて支援することもあげています。積極的な事業実施を図るべきであると考えますが、見解を伺います。	市長 担当部長
(続) 通告第14号 1番 遠藤 義法	2. 国保制度の構造的問題を解決するために公費負担の増額を	<p>国民健康保険財政健全化計画では、国民健康保険は、国民皆保険体制の中核としていますが、医療の必要性が高い高齢者を多く抱え、所得が低い被保険者が多く加入するなど構造的な問題を抱えているとしています。こうした問題を解決するために、平成30年度から都道府県と市町村が共同で運営する新たな制度がはじまりました。</p> <p>次の点について伺います。</p> <p>(1) 制度上構造的な問題の統計上の実態とその要因は。</p> <p>(2) 公的医療保険のなかで、国保加入者の所得は低いのに保険税は一番高く、滞納者が多いといわれていますが、事実上は。</p> <p>(3) 問題解決のために導入した都道府県化が2年目に入っていますが、目的達成となっていますか。</p> <p>(4) 医療費適正化対策等の一層の取り組み強化が謳われています。これまでの目標と実績、今後の事業実施策は。</p> <p>(5) 全国知事会などは、協会けんぽ並みに国保税を引き下げするためには「応益割」部分の財政規模が1兆円であることから、公費負担の増額を求めています。市の見解と国への要望の取り組みは。</p> <p>(6) 市は、被保険者の支え合いによる相互扶助の理念に基づいた制度としているが、国保制度は社会保障制度ではないのか、見解は。</p> <p>(7) 国は、市区町村の保険税の水準を統一することをめざして「標準保険料率」を示しています。そして「法定外繰入」を解消すべき「赤字」として、繰り入れを行わないことを前提としています。市の計画では今年度10%削減、23年度まで50%削減するとしています。この数年の法定外繰入の実績と今後の見通しは。</p>	市長 担当部長
	3. 旧庁舎の解体工事は適正に行われたか	<p>3月議会で工期の延長と請負金額の増額が追加議案として提案、可決されて旧庁舎の解体工事がすすめられてきました。改めて確認します。</p> <p>(1) 杭の引き抜きに時間を要するとしていましたが、杭の引き抜き本数と残数、残った要因は。最終的に作業を完了とした日程はいつか。</p>	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第14号 1番 遠藤 義法	(続) 3. 旧庁舎の解体工事は適正に行われたか	(2)請負金額を増額した算定見積もりと実数との差はあるのか。見積もりと違った場合の差額は。杭が残っている責任所在と今後の対応は。	市長 担当部長
	4. 放射線副読本についての見解と取り扱いは	原発事故から8年を経過しました。文科省は「放射線副読本」をすべての児童生徒に配布しましたが、被災者への配慮がなされていない等が指摘されています。市の見解と取り扱いは。 校庭や公園などに埋設されているフレコンバックの安全確認と今後の対応は。	市長 教育長 担当部長
通告第15号 3番 加藤 克明	生活困窮者世帯など貧困の連鎖解消に向けた小学生の学習・生活支援を行う「ジュニア・アスポート事業」を早期に設置し、更なる支援の拡大を。	埼玉県では、生活困窮者世帯や生活保護世帯の子どもを対象に、学習支援事業を実施してきました。平成29年度時点で、中学生教室100教室、高校生43教室まで拡大しています。民間の調査によれば、学力の土台となる「意欲」や「やり抜く力」などの「非認知能力」学力の差が小学生の段階から生じているという、分析結果もあります。そこで、埼玉県では平成30年度からモデル事業として、困窮世帯の小学生向け学習・生活支援事業「ジュニア・アスポート事業」を、県内6市町で実施してきました。学習支援では、大学生ボランティアや教員OBなどが、一人ひとりのペースに合わせて、基礎から無理なく学習し、マンツーマンで教えます。また、生活支援では食事の提供や、挨拶、歯磨きなど規則正しい生活習慣を定着させ、キャンプや工作、職場体験などを実施しています。 本年2月20日定例県議会で、上田知事の提案説明の中で、「貧困の連鎖の解消に向け、小学生の学習・生活支援を行う、「ジュニア・アスポート事業」を全県展開するため、新たにコーディネーターを設置し、教室の立ち上げ支援などを行います」と、力強い提案がありました。市としても、「貧困の連鎖」を防ぐため、積極的に、この事業に取り組むべきと考えますが、ご見解を伺います。	市長
通告第16号 12番 小林 昭子	1、歩道・通学路安全対策	滋賀県大津市で、散歩中だった保育園児らの列に車が突っ込み、園児2人が亡くなる事故が起きました。「今回の事故が起きた交差点には、歩道と車道の間には縁石はあったが、ガードレールやポールは設置されていなかった。1本、2本のポールが設置されていれば、命が助かったかもしれない。」等々専門家から意見が出されています。内閣府の発表した「道路交通安全施策の現況」でも「死者全体に占める歩行中の死者の割合は、欧米と比べて高割合となっており、歩行車の安全確保を図っていく事が、今後の交通安全対策上重要な課題である」としています。このような観点から、通学路を中心とした交差点安全の見直し・点検を(加藤平沼線・吉屋信号など)すべきでは。	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第16号 12番 小林 昭子	2、一級河川大場川改修事業現況と見通し	平成28年3月、地域説明会が開かれ、2倍の流下能力実現にむけ河川改修がスタートしました。①今年度の県予算化も含め当初の計画に対する進捗状況は。②今後の見通し。③家の立ち退き、立て替えが該当する場合進捗状況は特に気がかりです。定期的な事業報告など行い地域協力者（地権者）の立場に立った事業運営を求める。	市長 担当部長
	3、きれいな街づくり ゴミ・雑草雑木のない町、白線のきれいな道路	①3月議会で、きれいな街づくりの1つとして草木の伐採を取り上げました。水路沿いの雑木など該当する個所を指摘していただければとの答弁いただき対応もいくつかしていただきました。長期に渡り、地先の人が対応しているケース、木が大きくなって枝払いに苦労しているケースも多い。これでは中々きれいにならず中途半端。市として市内点検するなど伐採の徹底を図っていただきたい。街中の歩道の花壇、植樹部分の手入れの悪さが目立ち市民から指摘される事も多い。手入れが出来ないのであれば無理な植樹はやめたらどうだろうか。②ゴミパトロールでのゴミ投棄の現状（特徴など）、投棄量の推移は。早朝やジョギング時に路上のゴミを日常的に拾っている市民は少ない。①②については市民の日常的協力をいただいている。一方では、苦情に対して対応していただけないとの苦情も聞くがどの様に対応しているのか。③白線—今後どのような道路から優先していくのか。その終了時期は。	市長 担当部長
	4、三輪野江（川端）地区の生活環境改善	三輪野江地区の将来開発検討エリアとされている常磐自動車道南を中心とする地域について。①開発の現状認識—企業進出の現状など市の想定に沿ったものとなっているのか。②道路—開発の一方で事業所の建物の間になった（従来の）道路が雑地の様になっている。きちんと整備すべきではないのか。しんきぼり沿いの通学路の整備を。③公害—工場か資材置き場かわからない状態で操業する事業所が進出する事により騒音等の公害問題が発生している。抜本的な解決は操業にみあった施設整備が条件だと考えるがこの地域での操業条件は。市として考える解決策は。④しんきぼり—第1期工事の進捗状況と第2期工事に向けての今後の見通し。	市長 担当部長
	5、ごみ減量と資源ゴミとしての伐採草木収集を	吉川市は調整地域も多く自然に恵まれているが、その分伐採の草木量も多い。現在は燃えるごみとして出しているケースが多いと思うがその割合は。分別、別回収など資源ごみとして回収できるしきくでゴミ減量と市民生活の利便を。	市長 担当部長
	6、障がい者施策の現状と課題—就労支援はどこまで進んだのか	市は障がい福祉課を独立させ障がい者施策の推進を図ってきました。①総合的に—スタートした時の課題はどの様に進んできたか。今後の課題は。②ヘルプカードのその後の取り組みと課題。フレンドパーク、障がい者ホーム、なまずの里開設、障がい児発達支援セ	市長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第16号 12番 小林 昭子	(続) 6、障がい者施策の現状と課題—就労支援はどこまで進んだのか	ンターの独立と取り組みがすすんでいる。良かった点と課題。③市に寄せられる就労相談、施設利用に対してどの程度充足されているのか。市役所就労体験事業と就労拡大は。④様々な取り組み、早期からの支援は、成人後もバリアーなく社会参加や就労できる為の支援と考える。その為、市は障がい者就労支援検討会も立ち上げました。進捗状況。内容はどうか施策に反映されるのか。	市長 担当部長
通告第17号 4番 松崎 誠	1、公園再生プロジェクトについて	「公園再生プロジェクト」においては、第一弾となる関公園について、市民の皆さまの声に丁寧な耳を傾け、市民ニーズを捉え、それらを踏まえた上で「筑波大学」が監修してくださったランドデザインが完成し、今後はそれをもとに、新たなアスレチック遊具を設置し、「非認知能力」の向上につなげる事業を展開してまいります。また、「一般財団法人ワンアース」と連携し、宇宙を旅した桜の種から育った「きぼうの桜」を公園のシンボルツリーとして植樹するなど、「桜の公園」という関公園のコンセプトのもと、誰もが利用しやすい公園となるよう再生を図ってまいります。さらに、他の公園についても並行して改修を進め、市民の皆さまに市内の公園に、より親しみを感じていただけるよう事業を展開してまいります。と、施政方針にあります。と、そこで、お伺いします。 ①関公園が「桜の公園」に至った経緯は ②桜、アケボノスギなど多種多様な品種がある中で、なぜ「桜の公園」としたのか？	担当部長
	2. 安全安心のまちづくりについて	江戸川堤防強化対策の進捗状況と防災ステーションの整備に向けて考えを伺います。	担当部長
通告第18号 16番 伊藤 正勝	1. 「まちづくり」。東口開発について。 (1) 基盤整備の進捗 (2) 商業、産業、住宅等各ゾーンについて	今回は「まちづくり」について。美南駅東口開発の進展に焦点を合わせます。もう一つは「働き方改革」に関連しての質問です。いずれも継続してのテーマであり一歩踏み込んだの答弁を期待しています。 美南駅東口開発は総事業費179億円。吉川市施行で10年計画。現在3年目を迎えています。質問の第1は基盤整備についてです。①現状②課題や変更点は③今後の整備見通しについてです。▽土地の造成事業▽骨格道路▽河川、上下水道、調整池▽「みんなの庭」のコンセプトと公園づくりの取り組み。この4点に関連してご説明下さい。 次に第2点は駅前の商業ゾーン。産業ゾーン。住宅ゾーン。それぞれの取り組みと進捗状況。今後の段取り。関係者等の関心の度合いなどにもふれてご説明下さい。 吉川市の開発ビジョンでは商業ゾーンに教育、文化、子育ての施設の立地等もうたっています。この商業ゾーンのイメージ。民間の関心と動向。吉川市等の公的施設の配置について。考えを伺います。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
(続) 通告第18号 16番 伊藤 正勝	(続) 1. 「まちづくり」。東口開発について。 (3) 吉川駅、美南駅、庁舎周辺。 3大拠点としての整備発展は。 (4) 資金計画について。 (5) 税込確保の見通し。 (6) 主な「開発への支出と税込」について (7) 公的機関設置。公的資金、民間基金の導入。	3点目の質問は美南駅の位置づけです。美南駅は吉川駅と並ぶ交通の拠点であり、庁舎・おあしす周辺とともに吉川市の主要な3拠点であろうと考えます。その前提に立てばこの3拠点を結ぶ道路や交通網の整備を同時並行して進める視点が必要です。3拠点を点ではなく線で結び、面として発展させるとの展望です。 ▽3拠点の位置づけ。相互を結ぶ必要性とその認識を伺います。▽基本の道路網▽公共バス等交通網整備の考え▽美南駅の東西、南北を結び一体としての住みよいまちづくりへの方策について。どう考えるか。 4点目は資金計画についてです。▽用地売却益▽国、県の補助金など▽吉川市支出の負担金に触れて現状と見通しをご紹介下さい。 5点目は整備後の税込確保の見通しについてです。徴収はいつから。税込額の推移の見通しについて。 6点目。関連してこれまでの「開発」と「税込」について伺います。▽きよみ野▽美南地区▽操車場跡地▽中央土地▽東埼玉テクノポリス▽小松川工業専用地区について。それぞれの総事業費。吉川市の支出負担金額と年間の税込について。わかる範囲でご紹介下さい。 7点目は国、県などの公的機関の誘致。公的資金の導入について伺います。▽国や県立の文化施設の誘致▽県立の公園施設▽第2大場川の県管理格上げは考えられないか。「参与」とともに検討し努力してほしいとの意向を含めた質問です。	市長 教育長 担当部長
	2. 「まちづくり」。吉川橋、流山橋。常磐道のスマートIC整備について	吉川橋、流山橋。常磐道のスマートIC整備の展望と影響。活用の方向について伺います。	市長 教育長 担当部長
	3. 「働き方改革」の進展	30年6月。「働き方改革法」が成立しました。生涯現役、総活躍社会。日本人のライフスタイルを変える。そのチャレンジとされています。同一労働同一賃金、有給休暇の取得義務化など正規職員、非正規職員の在り方。働く環境、意識の変革が迫られています。▽吉川市の取り組みのポイント。▽現状と今後のスケジュール。正職員、臨時職員それぞれについて伺います。▽産休、育休の取得、どう変わるようになるか。吉川市の職員同士の夫婦における実状。産休、育休により欠員が生じている間の対応策について。▽再任用職員。現状と今後の推移。一段の活気と活力が出るようにと願っていますが如何ですか。	市長 教育長 担当部長
	4. プログラミング教育と英語教育への取り組み	来年度学習指導要領が大幅に改変されます。プログラミング教育や英語教育が小学校から導入されます。学校間や地域間の格差が広がっているとの指摘もあります。新教育長の認識。準備状況や今後の取り組み方針について考えを伺っておきます。	市長 教育長 担当部長

質問者	質問事項	質問要旨	答弁を求める者
通告第19号 7番 岩田 京子	吉川市における持続可能な循環型社会構築に向けた取組みについて	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消をすすめる取組みについて ・自給率を高めるための取組みについて ・養鶏業の継続性について ・特別栽培を拡大させるための取組みについて ・給食における特別栽培米の利用について ・給食における地場産野菜の利用について ・給食費の公費負担について（例えば、特別栽培米等を利用した際の割高分の補填） ・ごみ減量の取組み。第1工場が今後の検討に入るにあたり、吉川市の姿勢を示していく必要があると思うが、市の長期的な方向性をお聞きしたい。 	市長 担当部長
	高齢化に伴う旅客運送の利便性向上にむけた取組について	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が期待する公共交通の実現へ向けた市の取組み ・公共交通会議の開催に対する市の考え方 ・持続可能なバス事業をめざし、利用率と利便性の向上という相乗効果を狙うためのバス優先社会の実現、特に駅前対策に関する市の考え方(吉川駅・吉川美南駅) ・バス路線ごとの収支の見える化を図れないか ・市内での有償運送導入の可能性は。 	市長 担当部長
	吉川市の化学物質対策について	学校における <ul style="list-style-type: none"> ・有毒物質イソシアネートの測定について ・教育委員会から家庭へのお知らせについて ・テーブルクロスの廃止について ・化学物質過敏に関するアンケートの実施について 公共の場における <ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の殺菌・殺虫の方法について ・図書の殺菌・殺虫について ・乗り物における対策について ・街路樹・公園等の樹木について (ネオニコチノイド系農薬の利用があるかについてもお聞かせください) 	市長 担当部長
	おあしすの現状を生かした有効活用について	<ul style="list-style-type: none"> ・元は一とふる・ぽっとスペースの有効活用について ・2階庭園、1階中庭利用について ・子育て支援センターの利用について 	市長 担当部長